

個性的なメンバーで構成される 市内で唯一の劇団



地元で愛される劇団を目指して 小林市民劇団 25馬力

Kobayashishimingekidan25BARIKI

平成13年に小林市文化会館で旗揚げ公演を行う。以後、文化会館を中心に活動し、都城市の劇団こぶく劇場との合同公演を三股町、門川町、宮崎市などで行う。平成17年には、郷土の芸術家シリーズで県立芸術劇場（現メディキット文化センター）で公演。個性的な役者を擁し、客演も多数。

- 劇団25馬力メンバー
- ・神水流じん子
 - ・山室曹倍
 - ・中嶋友紀
 - ・中窪由唯
 - ・南崎由美子
 - ・餅原奈々
 - ・杉山知づる
 - ・中村大介
 - ・里岡小愛
 - ・ゆの

【小林人】のコーナーでは、小林市在住や出身のキラリと光る人をご紹介します

小林人

こばやしびと
Vol.16

「劇をもっとやりたい。地元で愛される劇団を」
そんな思いから始まった劇団25馬力は平成13年に産声を上げた。様々な人の協力を仰ぎ、脚本から演出、大道具まで全て自前。結成から2ヶ月後、ついに旗揚げ公演「ONE」を行う。そして旗揚げから一年で3作品を公演。無謀な挑戦も勢いでやり遂げた。

翌年、彼らは小林市の自主文化事業に講師として招かれた宮崎県を代表する都城市の劇団「こぶく劇場」の代表永山智行氏と出会う。永山氏は県外での戯曲講座や脚本の書き下ろし



ノラと風のバラッド [9月18日/文化会館]

も手がける宮崎県演劇界の大家だ。この永山氏から、脚本、演出、大道具の制作などの方法や俳優としてのスキルを学んだ。

ここで劇団25馬力は大きく成長。メンバーは入れ替わりながら、文化会館を中心に公演し、成功を収めていく。平成20年には、先に紹介した「こぶく劇場」との合同公演を実現。レベルの高い俳優陣との共演は、25馬力メンバーの大きな刺激となり、他の劇団との交流も深まった。現在稽古中の劇「ノラと風のバラッド」は、鹿児島県の劇団との合同公演。全国でも珍しい県境を越えた公演だ。

そうした繋がりには、団員が他の劇団に客演として出演する契機にもなった。素人で旗揚げに参加した山室曹倍さんは現在64歳。「演じることは難しいが、そこが面白い。もっとうまくやりたい」と10年間努力を続けてきた。今では貴重な年配の役者として、他の劇団から出演依頼を受ける。そうして招かれた団員は、そこで得たことを他の団員の技術向上に還元する。

「二つの公演が終わっても満足することはありません。常に反省しながら、次の公演はもっと質を上げよう」とみな頑張りついで「また、旗揚げ当初から毎回観客にアンケートを実施している。記入された意見や激励は次の公演への励みになるという。そういった飽くなき向上心が弛まぬ努力を生んでいるようだ。そこには「観客は時間とお金を使って来てくれている。だから私たちは最大限に力を発揮して演じることで応え

たい」という思いがある。

「PLAY is PLAY」
劇団25馬力のモットーだ。PLAYは演劇と遊びの意味を持つ。つまり「演劇とは真剣に遊ぶこと」。そこには「演劇は敷居の高いものではない。もっとう身近に感じてほしい」という彼らの思いが表れている。神水流代表は「演劇はアンサンブル。役者や裏方みんなの絶妙な調和で成り立つ」と話す。昨年結成10周年を迎えた劇団25馬力。個性豊かな俳優陣と献身的な裏方が織り成すハーモニーをぜひ観賞してほしい。

【写真】稽古風景。和気あいあいとした雰囲気、稽古に入るとピンと張り詰めた空気になる。



◆劇団員・スタッフ募集中
舞台上に立ちたい、裏方に興味がある方、初めての方も大歓迎です。興味のある方は！
25bariki@gmail.com
へメールください。

次回公演案内



門川！こぶく劇場公演
劇団25馬力協働制作事業

平成24年1月8日(日曜) 19時開演
1月9日(月曜) 14時開演
入場料：一般1,000円、高校生以下500円
場所：小林市文化会館 小ホール
間：小林市文化会館 Tel.23-7400
※詳しくは20ページ文化会館情報へ